

第2回 向日市民温水プールあり方検討会議 次第

日時：令和5年9月26日（火）

午後3時～

場所：向日市役所本館第7会議室

- 1 開 会
- 2 委員の紹介
- 3 議 事
 - (1) 前回の会議内容について
 - (2) 他市自治体事例について
 - (3) 意見交換
 - (4) その他
- 4 閉 会

向日市民温水プール あり方検討会議

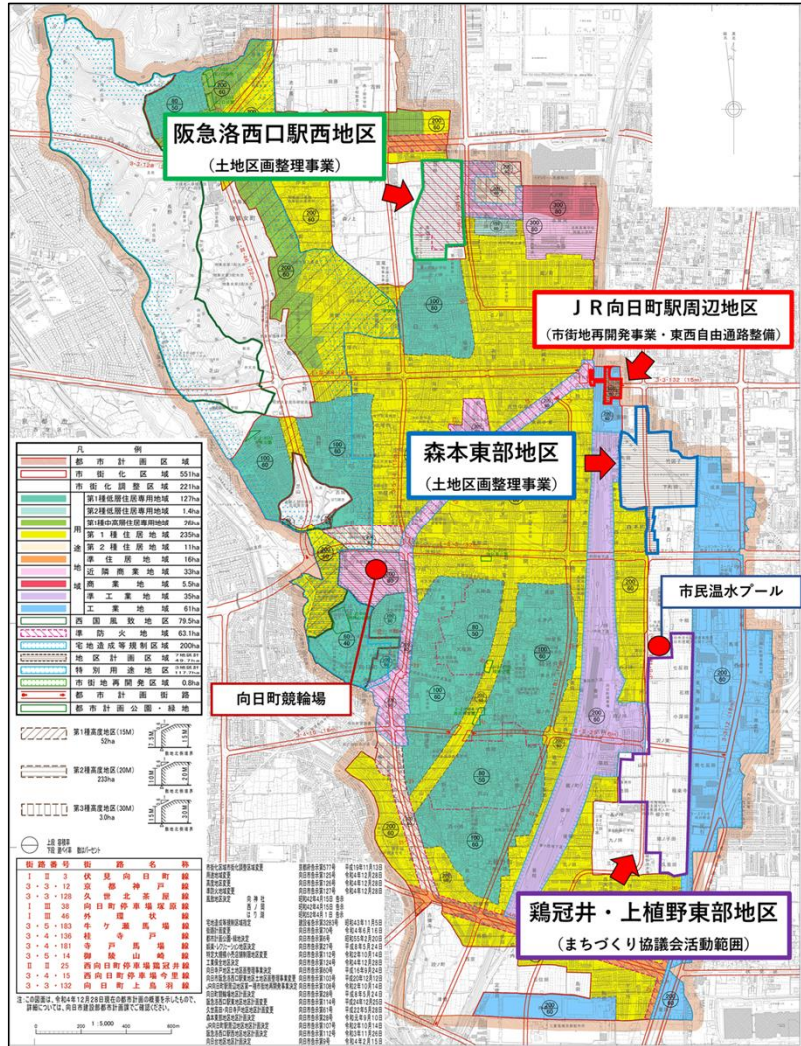
第2回（令和5年9月26日）

第1回会議内容

■主なご意見

- ・ 財政を圧迫してまでプールを建設すべきという訳ではない。
- ・ 市民の健康増進のためにできた施設なので、存続してほしい。
- ・ 周辺のまちづくりの状況も見ながら、判断しなければならない。
- ・ 学校の水泳授業で使うべき。
- ・ 向日市の人口、財政規模で温水プールが本当に必要か。
- ・ 未来を担う子どもたちに何を残すか、責任をもって判断すべき。
- ・ プールではなく、防災公園などの検討も必要ではないか。

周辺まちづくりの状況について



■土地区画整理事業

事業名称	事業期間
向日市森本東部地区 土地区画整理事業	令和元年11月～令和7年3月 (2018年11月～2025年3月)
向日市阪急洛西口駅西地区 土地区画整理事業	令和4年6月～令和9年3月 (2022年6月～2027年3月)

■JR向日町駅東口開設推進事業

事業名称	事業期間
自由通路整備事業	令和4年2月～令和10年3月 (2022年2月～2028年3月)
市街地再開発事業	令和4年2月～令和12年3月 (2022年2月～2030年3月)

■鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会

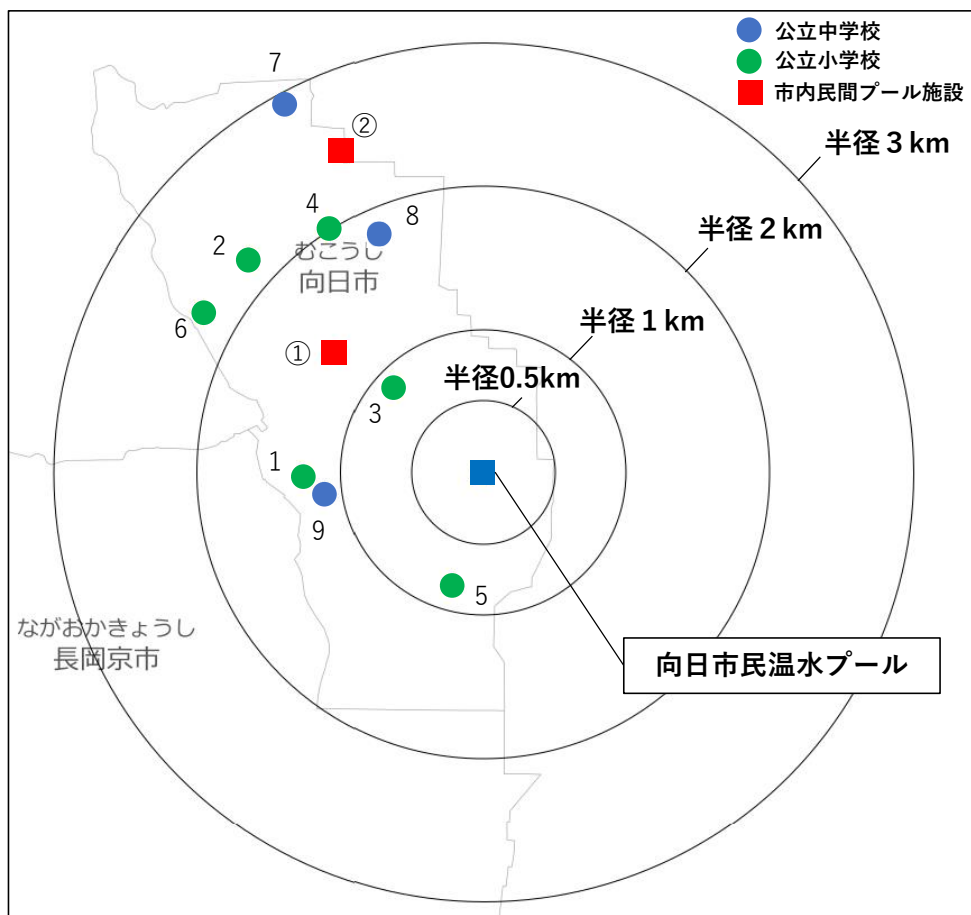
協議会名称	協議会認定
鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会	令和4年8月 (2022年8月)

■京都府

審議会等名	担任する事項
向日町競輪事業外部有識者会議	向日町競輪の今後の事業運営について、幅広い視点から意見を聴取する
京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会	京都府におけるスポーツ施設のあり方に関すること

小・中学校（公立）の学校プールの状況

■学校プール施設（公立 小・中学校）



	学校名	建設年度	大プール	小プール
1	向陽小学校	1975年(昭和50年)	25m×10コース	有
2	第2向陽小学校	1969年(昭和44年)	25m×6コース	有
3	第3向陽小学校	1972年(昭和47年)	25m×6コース	有
4	第4向陽小学校	1973年(昭和48年)	25m×6コース	有
5	第5向陽小学校	1975年(昭和50年)	25m×6コース	有
6	第6向陽小学校	1980年(昭和55年)	25m×6コース	有
7	西ノ岡中学校	1994年(平成6年)	25m×6コース	無
8	寺戸中学校	1995年(平成7年)	25m×8コース	無
9	勝山中学校	プール施設・無		

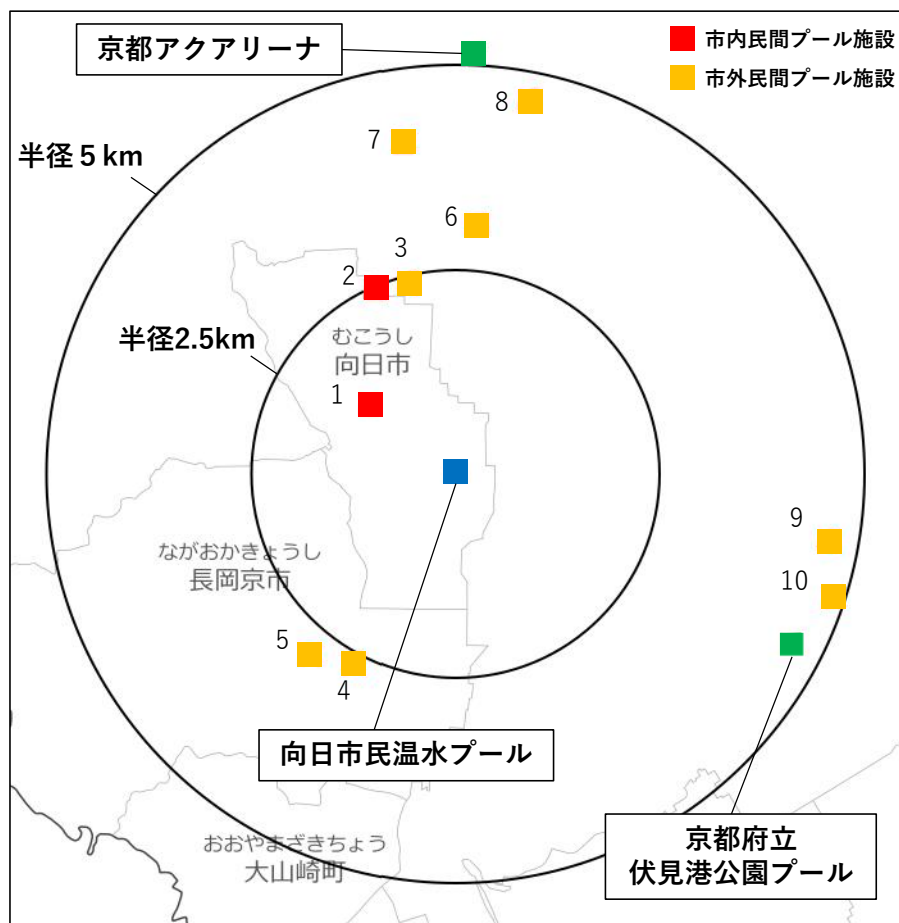
■市内民間プール施設

- ①スイミングスクール 25m×6コース
- ②フィットネスジム併設 25m×6コース

近隣プール施設の状況

※学校施設除く

■近隣のプール施設（半径5km未満）



①向日市民温水プールから半径2.5km未満

- ・民間プール施設 3か所
(市内 2か所・市外 1か所)

②向日市民温水プールから半径2.5km以上5km未満

- ・民間プール施設 7か所
(市外 7箇所)
- ・公共プール施設 1か所
(京都府立伏見港公園プール)

■運営形態（上記、民間プール施設10か所の内訳）

- ①スイミングスクール
4か所（1・5・6・8）
- ②フィットネスジム併設
6か所（2・3・4・7・9・10）

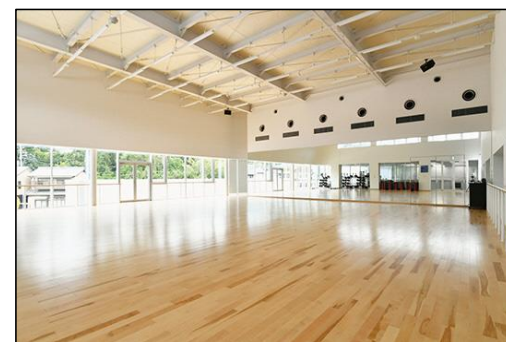
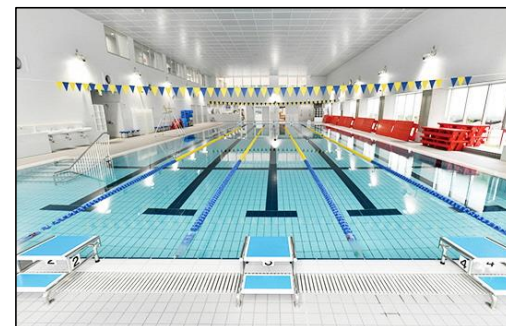
他自治体事例紹介（施設設置 自治体概要）

	向日市	滋賀県 大津市	福井県 越前市	茨城県 鹿嶋市
人口 (令和5年8月1日時点)	5万6,561人	34万3,956人	7万9,915人	6万5,468人
面積	7.72km ²	464.5km ²	230.7km ²	106.04km ²
一般会計 歳出決算額 (2021年度・令和3年度)	約 236億375万円	約 1,410億7,421万円	約 405億3,299万円	約 273億4,169万円
屋内温水プール施設数 (公共施設)	1	2	2	2
事例紹介・施設名		大津市富士見市民温水プール (愛称:スポック富士見)	武生中央公園温水プール (建物名称:パーキーハウス)	いきいきゆめプール
特徴		PFI手法 (BTO方式) (ゆめパレアむこう類似施設)	Park-PFI 活用 (ゆめパレアむこう類似施設)	学校プール集約

他自治体事例（ゆめパレアむこう類似事例）

■新富士見市民温水プール整備・運営事業

- ①自治体名：滋賀県 大津市
- ②施設名：大津市富士見市民温水プール（愛称：スポック富士見）
- ③竣工：2018年8月（平成30年8月）
- ④運営開始：2018年10月（平成30年10月）
- ⑤設置経緯：既存施設の老朽化に伴う移設
- ⑥敷地面積：約8,832㎡
- ⑦建築面積：約1,650㎡
- ⑧延床面積：約2,273㎡（※構造 地上2階建・鉄骨造）
- ⑨主な設備：屋内温水プール（25m×5コース・児童プール）
マシンジムスペース、アリーナスタジオ、マルチスタジオ、談話室
- ⑩手法：民設民営（PFI手法）
- ⑪事業費：19億9835万5909円（税別）
※運営・維持管理期間の運営費を含む
- ⑫運営・維持管理期間：2018年10月～2034年3月（15年6か月間）
（平成30年10月～令和16年3月）



■参考箇所

- ①ゆめパレアむこうと以下の点で類似しているため、財政負担面で参考となる。
 - ・敷地面積が、ゆめパレアむこうの約1.04倍と同規模である。
 - ・建築面積や延床面積がゆめパレアむこうより小さいが、主な設備が類似。
- ②設計・建設と運営・維持管理を一括発注したPFI手法を活用している。
- ③運営・維持管理期間を15年6か月という長期間としている。

出典：大津市ホームページ

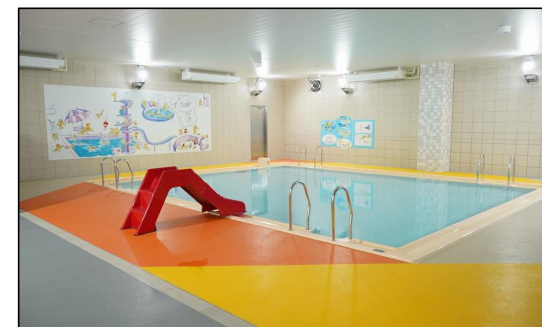
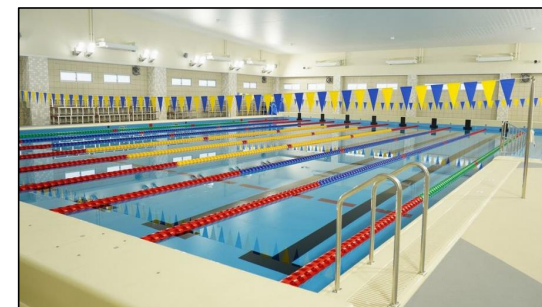
他自治体事例（ゆめパレアむこう類似事例）

■武生中央公園温水プール整備事業

- ①自治体名：福井県 越前市
- ②施設名称：武生中央公園温水プール（建物名称：パーキーハウス）
- ③竣工：2022年2月（令和4年2月）
- ④運営開始：2022年3月（令和4年3月）
- ⑤設置経緯：老朽化した屋外水泳場を屋内型の温水プールとして再整備
- ⑥敷地面積：約8,574㎡（水泳場再整備事業の事業区域）
※参考・公園全体の面積 約133,000㎡
- ⑦建築面積：約2,241㎡
- ⑧延床面積：約3,085㎡（※構造 地上2階建・鉄骨造）
- ⑨主な設備：屋内温水プール（25m×8コース・幼児用プール）、ジャグジー併設・民間のスポーツジム、民間の遊戯施設
- ⑩手法：Park-PFI（プールの運営は、指定管理制度を活用）
- ⑪事業費：建設費（プール部分・駐車場） 約6億9,600万円
指定管理料（令和4年度分） 約4,212万円
- ⑫指定管理期間：2022年3月～2031年3月（9年1か月間）
（令和4年3月～令和13年3月）

■参考箇所

- ①ゆめパレアむこうと以下の点で類似しているため、財政負担面で参考となる。
 - ・敷地面積が、ゆめパレアむこうの約1.01倍と同規模である。
 - ・屋内温水プールの設備（25×8コース・幼児用プール）が類似している。
- ②民間のスポーツジムに加え、民間の遊戯施設等も併設している。



出典：越前市ホームページ

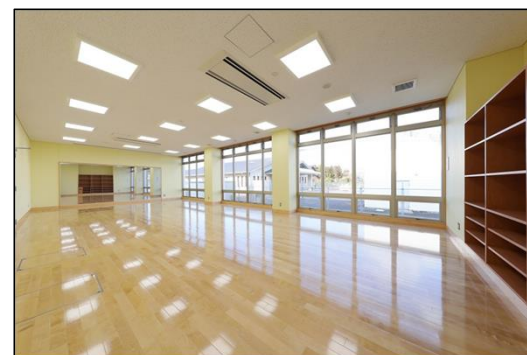
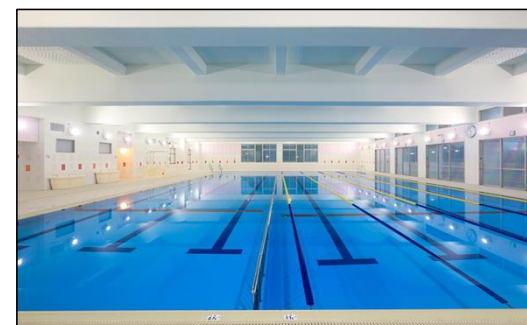
他自治体事例（学校プール集約事例）

■鹿嶋市大野区域屋内温水プール整備事業

- ①自治体名：茨城県 鹿嶋市
- ②施設名称：いきいきゆめプール
- ③竣工：2019年3月（平成31年3月）
- ④運営開始：2019年4月（平成31年4月）
- ⑤設置経緯：老朽化した5つの学校プール（小学校4校・中学校1校）を集約し、新たに屋内温水プールを設置。
- ⑥敷地面積：約2,226㎡
- ⑦建築面積：約1,332㎡
- ⑧延床面積：約1,279㎡（※構造 地上平屋建・鉄筋コンクリート造）
- ⑨主な設備：屋内温水プール（25m×7コース）、採暖室、ジャグジー、トレーニング室、談話室
- ⑩手法：公設民営（運営は、指定管理制度を活用）
- ⑪事業費：建設費 約7億4844万円
指定管理料（令和4年度） 約4,747万円
- ⑫指定管理期間：2019年4月～2024年3月（5年間）
（平成31年4月～令和6年3月）

■参考箇所

- ①学校プールを集約し、屋内温水プールで整備。年間を通して水泳授業を実施。
- ②平日の午前に水泳授業を実施し、平日の午後や土日一般向けに開放。
- ③建築面積や延床面積がゆめパレアむこうより小さく、規模縮小時の参考事例。



出典：鹿嶋市提供

他自治体事例（防災公園整備）

■葛西防災公園

①自治体名：東京都 江戸川区

②公園名称：葛西防災公園

③開 園：2015年3月（平成27年3月）

④設置経緯：老朽化した江戸川プールガーデン（レジャープール）を閉鎖。建物の一部を再利用し、葛西防災公園として整備。

⑤敷地面積：約22,386㎡

⑥主な設備：防災倉庫、かまどベンチ、井戸、マンホールトイレ
テニスコート（人工芝6面）
テニスコート（ハード2面 ※フットサル兼用）
遊具広場、芝生広場

■参考箇所

- ①レジャープール跡地を防災公園として整備。建物の一部を再利用。
- ②防災倉庫やかまどベンチなど防災機能を有し、防災拠点。
- ③平常時は、芝生広場や遊具広場、テニスコートとして利用できる。



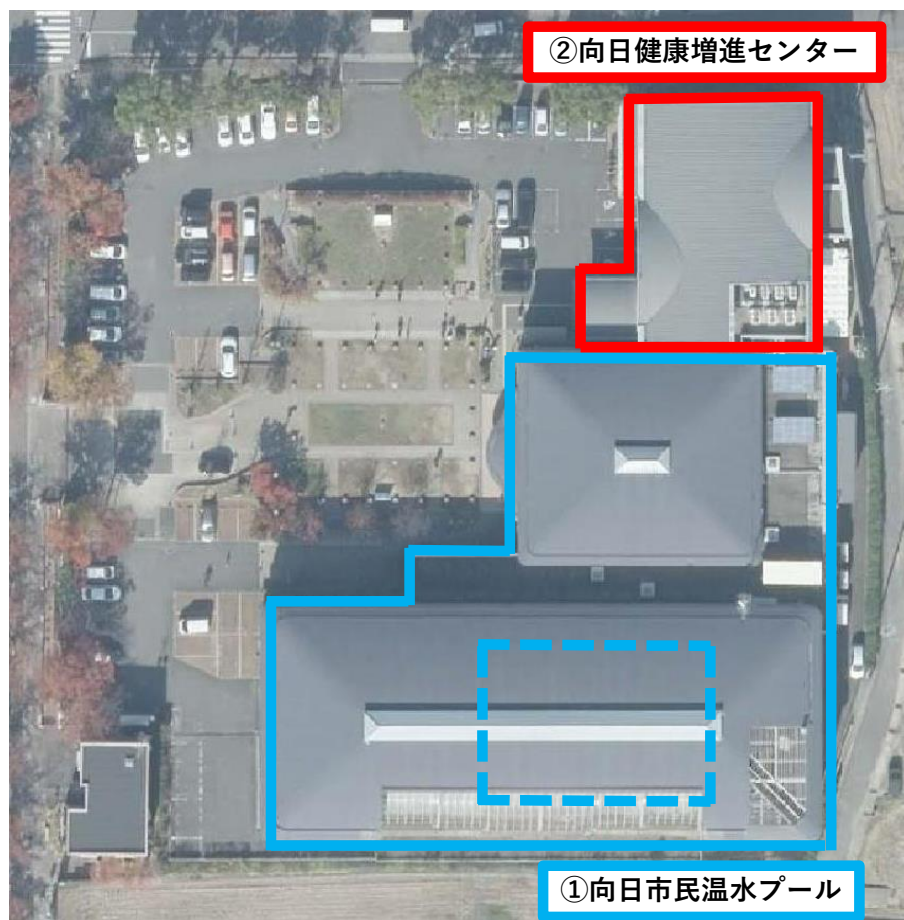
出典：江戸川区ホームページ

■居住地別の回答状況（市民温水プールに関するアンケート調査：令和4年6月実施分）

居住地	発送数	回答数	回答率	存続すべき	廃止すべき	わからない	不明 無回答
物集女町	717	254	35.4%	40.6%	26.8%	31.5%	1.2%
寺戸町	2,289	803	35.1%	46.1%	26.9%	26.3%	0.7%
森本町	382	156	40.8%	54.5%	19.2%	26.3%	0.0%
鶏冠井町	474	191	40.3%	59.2%	20.9%	19.4%	0.5%
向日町	98	64	65.3%	48.4%	28.1%	23.4%	0.0%
上植野町	1,040	380	36.5%	55.8%	23.4%	19.7%	1.1%
不明 無回答	-	5	-	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%
	5,000	1,853	37.1%	49.4%	24.9%	24.9%	0.8%

※アンケートの発送数は、行政区の人口構成比率に合わせて発送しています。

ゆめパレアむこう施設規模



■向日市民温水プール及び向日市健康増進センター

- ①施設名称：向日市民温水プール及び向日市健康増進センター
(両施設の総称：ゆめパレアむこう)
- ②設置経緯：市民の健康増進及び
市民のふれあいを高めることを目的に設置
- ③敷地面積：約8,474㎡ (★)
- ④建築面積：約3,610㎡ (★)
- | | |
|----------|--------|
| 健康増進センター | 662㎡ |
| 市民温水プール | 2,948㎡ |
- ⑤延床面積：約4,731㎡ (★)
- | | |
|----------|--------|
| 健康増進センター | 1,215㎡ |
| 市民温水プール | 3,516㎡ |
- ⑥主な設備：各施設の主な設備は、以下のとおり。
- | | |
|----------|--|
| 健康増進センター | トレーニング室、スタジオ
受付、更衣室 |
| 市民温水プール | 屋内温水プール (25m×8コース・幼児用)
採暖室、会議室、受付、更衣室 |
- ⑦指定管理料：4,500万円 ※休館前 2021年度(令和3年度)

民間活用手法等について

制度名	特徴
指定管理制度	施設の運営業務を長期的かつ包括的に、民間事業者に委託する方式。民間事業者等の人的資源やノウハウを活用し、施設の管理運営の効率化（サービス向上、コスト削減）を図ることを、主な目的とする制度。
PFI (private finance initiative)	資金調達も民間事業者が自ら行ったうえで施設を建設し、その施設の運営業務を長期間包括的に実施する方式。設計・建設及び運営・維持管理業務を民間事業者に一括発注するため、業務の関連性・一体性や長期事業期間を視野に入れた民間事業者の創意工夫を建設及び運営業務の双方に発揮することが期待できる。
Park-PFI (公募設置管理制度)	都市公園において、飲食店、売店等の公募対象公園施設の設置又は管理を、公募により選定する方式。事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には、都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。